

認定スクールトレーナーによる小中学校での指導・教育活動



～ 東京都港区の事例 ～



研修会名	令和6年度認定スクールトレーナー制度による講演会
本研修会の目的	運動器医療の高度な学術的知識と臨床技法を有する専門家が、学校保健の現場に参画・支援することにより、児童生徒等の運動器の健康増進と健全な成長を図る。
日 時	令和7年2月7日（金）午前10時45分から11時30分まで（45分間）
会 場	港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘小学校（港区白金4-1-12）
内 容	<ol style="list-style-type: none">(1) 校長挨拶(2) 講話「小学生にみられるけがや故障」(3) 実技「姿勢・歩き方・バランス能力チェックとストレッチング方法・杖の使い方を知る」(4) 質疑応答
連絡事項	受講対象者：5年生児童124名、5年生教員4名、管理職2名の計130名の参加 報償費：港区教育委員会より支出

担当 指導主事 ○○○○



※ 港区教育委員会からScT所属機関の所属長宛の委嘱状より



時程	※体育着で体育館
10:40~10:45	児童移動 体育着に着替えて体育館集合
10:45~10:48 (3分)	校長挨拶
10:48~10:50 (1分)	講師紹介 (指導主事)
児童向け講話・実技指導	
10:50~11:08 (18分)	講話①「小学生にみられるけがや故障」 講師：社会医療法人社団大成会 長汐病院 リハビリテーション科 鈴木 享之 副主任 (認定スクールトレーナー)
11:08~11:28 (20分)	実技①「姿勢・歩き方・バランス能力チェックとストレッチング方法・杖の使い方を知る」 講師：社会医療法人社団大成会 長汐病院 リハビリテーション科 鈴木 享之 副主任 (認定スクールトレーナー) 東京慈恵会医科大学附属病院 リハビリテーション科 中山 恭秀 准教授 リハビリテーション科 木下 一雄 理学療法士 リハビリテーション科 茂木 茜 理学療法士
11:28~11:30 (3分)	児童の感想 代表者1名 終了



認定スクールトレーナー(ScT) 活動の連携トライアングル

～ 東京都港区の事例～



A 公益財団法人 運動器の健康 ・日本協会

武藤業務執行理事：全体の調整
鈴木享之ScT：講義・実技指導

学校

港区立
白金の丘学園
白金の丘小学校

学校長、副校長
5学年担当教員4名
児童124名（男・女）

B 学校法人 慈恵大学 東京慈恵会医科大学

丸毛啓史副理事長

安保雅博教授

理学療法士（PT）の派遣
(講義・実技指導の補佐)

中山恭秀准教授
他2名（男・女）

C 東京都港区 港区教育委員会

担当指導主事（保健体育）
学校との連絡・調整
実施要項の作成
講師謝金の手配
講師委嘱状の発出